



グッドデザイン賞を受賞しました！！

諫早市美術・歴史館が「2015年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。当館はシンプルで機能的なプランニングと周辺環境と調和のとれた外観デザインが印象的な建築で、プレゼンテーションウォールと呼ぶ展示スペースを配した、庭園側の表情が審査時に高く評価され、今回の受賞となりました。

■明治39年（1906）の観測以来、史上最高積雪を記録



（諫早公園内にある国重要文化財「眼鏡橋」）

1月24日撮影

1月24日、日本列島の上空に今季最も強い寒気が入り、西日本を中心に記録的な大雪、低温となりました。

長崎県内でも記録的な大雪と厳しい冷え込みに見舞われ、長崎市では積雪が明治39年（1906）の観測開始以来、最多の17センチを記録しました。

美術・歴史館に隣接する眼鏡橋も「雪化粧」となり、ふだんとは違う姿を見せていました。

■主な催し



第 60 回記念長崎県美術展覧会

「県展」で知られる「長崎県美術展覧会」が今回で記念すべき 60 回を迎え、諫早会場展が平成 27 年 10 月 15 日から 10 月 25 日まで開催されました。県展は、昭和 31 年にスタートした県内最大の美術公募展です。今回、全 1, 593 点の出品作品のうち、諫早在住者の入賞作品は 11 点、入選作品は 112 点でした。会場には、日本画や彫刻、書、写真など 291 点の作品が展示され、多くの美術ファンが訪れました。



第 54 回諫早市美術展覧会

平成 27 年 10 月 29 日から 11 月 1 日まで、「第 54 回諫早市美術展覧会」が開催されました。この展覧会は市民の皆さんから応募いただいた作品を展示・することを通して、創作活動をされる方の励みと、また市民の皆さんが身近に芸術に触れる機会となることを目的として、毎年開催されているものです。今年は 217 点が展示され、来場者の目を楽しませました。



(写真は慶巖寺)

史跡見学バスツアー

平成 27 年 11 月 14 日に美術・歴史館主催バスツアーを「真崎城→長崎街道→尾和谷城(車窓)→大雄寺(奥ノ院・五百羅漢)→平松城(車窓)→諫早神社→慶巖寺→眼鏡橋→高城」のコースで初めて開催しました。ガイド役は本館学芸員の川内・大島が担当。当日は小雨模様の中 23 名の方が参加されました。今後も年数回バスツアーを企画しますのでご参加ください。



林田重正展

平成 27 年 12 月 2 日から 1 月 11 日に諫早生まれの洋画家・林田重正の展覧会を開催しました。代表作とされる山の絵を中心に、ご遺族から寄贈いただいた油彩・水彩・鉛筆画など作品 46 点を展示しました。三菱造船所の社内報『菱苑』の表紙絵や挿絵などの画業以外の活動や、親戚・野口彌太郎等との交流にもスポットを当て、様々な面から林田重正を紹介しました。



**「山」水彩・色鉛筆 24.0 × 32.0cm
1987（昭和62）年 林田重正作**

林田重正（1918-1997）は現在の諫早市上野町付近で生まれた洋画家です。21歳で上京し、自由美術展などで活躍しました。「月に一度は山を見ないと不安になる」というほどの山好きで、詩情豊かな山の絵を数多く描きました。

この作品は当館で開催された「林田重正展」で印象に残った作品として、一番多くの方々から選ばれたものです。紙に水彩絵具と色鉛筆を用いて、繊細に変化する色彩で山々と空にたなびく雲の様子を描き、軽やかで透明感のある作品に仕上げられています。

少ない手数で着実に現場の様子がとらえられており、野外でのデッサンをとても大事にしていた林田重正らしい作品です。

- 展示中の資料から -

にしごう いたび たくほん

西郷の板碑拓本



建久元季才次庚戌十一月日

年代 建久元年(1190)

寸法 高さ約 200.0cm 幅約 130.0cm 厚さ約 7.5cm(現物)

材質 砂岩板状石

西郷の板碑は西郷町の市営西郷町亀山住宅内にあり、昭和46年(1971)9月14日に長崎県有形民俗文化財に指定されました。江戸時代この場所には、慈眼院という真言宗の寺院がありましたが、明治の廃仏毀釈により、廃寺となりました。

板碑は追善供養や逆修(生前に、自分の死後の冥福のために仏事をする事)の目的で建立され、鎌倉時代から南北朝時代にかけて盛んに行われ、主に関東地方を中心に多く存在します。

板碑の上方に胎藏界大日如来(ア)、右下に不動明王(カーン)、左下に毘沙門天(ベイ)の五点具足種子が月輪の中に刻まれており、不動明王と毘沙門天の五点具足種子の間に「建久元季才次庚戌十一月日」と刻まれています。また、この板碑は長崎県下の石造物の紀年銘(製作年号など年代を明らかにする文句の入れられたもの)が彫られている、最古のものとみられます。

催し案内

(諫早市美術・歴史館が行う企画展や、貸室の主な催しを紹介します)

| 2・3月開催予定 | |
|--------------------------|---|
| 諫早市小中美術展 | ■と き: 2月5日(金)～8日(月) ■と ころ: 1階ホール・2階企画展示室・研修室 ■問い合わせ: 吉村 長尚 (TEL 0957-44-1872) |
| 日本習字作品展(諫早支部長会) | ■と き: 2月10日(水)～14日(日) ■と ころ: 2階企画展示室 ■問い合わせ: 日本習字諫早支部長会 (TEL 0957-22-6599) |
| 新諫早紀行写真展 「楽」諫早特集 ※館主催 | ■と き: 2月24日(水)～3月17日(木) ■と ころ: 1階ホール ■問い合わせ: 美術・歴史館 (TEL 0957-24-6611) |
| 新収蔵 野崎嶽南作品展 ※館主催 | ■と き: 3月5日(土)～28日(月) ■と ころ: 2階企画展示室 ■問い合わせ: 美術・歴史館 (TEL 0957-24-6611) |

美術・歴史館 館長講座

- と き
2月20日(土)
午前10時30分～12時
- と ころ
2階研修室
- 内容
「諫早の七不思議(第4回)」
～なぜのんこと呼ばれるのか～
- 講師
鈴木勇次(美術・歴史館館長)
- 対象
高校生以上(定員30人)
- その他
受講料無料、事前申し込み不要
- 問い合わせ先
美術・歴史館
(TEL 0957-24-6611)

諫早市美術・歴史館だより 第5号<年3回発行>

〒854-0014 諫早市東小路町2番33号

TEL: 0957-24-6611 FAX: 0957-24-6633

E-mail: bireki@city.isahaya.nagasaki.jp